

国際水素エネルギー協会会長が 水素いちごプラント視察

国際水素エネルギー協会の
ネジャト・ヴェジログル会長
が西条市を訪れ、水素いちご
の試験・研究プラントなどを
視察されました。

ヴェジログル会長は東京で
開催された松前国際友好財団
創立30周年記念講演会（同財
団、東海大学共催）に講師と
して来日したことを機会に、
西条市の水素いちごごと、自動
車メーカーの燃料電池開発の
視察を強く希望され、今回の
訪問となりました。

視察は、6月30日から2日間に
わたって行われ、視察には、
東海大学理事・松前国際友好
財団理事長を務められる内田
裕久教授も同伴されました。

内田教授には水素いちごの
試験・研究をはじめ、市の水
素エネルギー活用に支援・助
言をいただいています。

■視察初日

初日は市長との会談後、産
業情報支援センターで水素い
ちごの試験・研究に至ったこ
れまでの取り組みを説明し、

（榎谷口金属熱処理工業所の敷
地内に設置している水素いち
ごの試験・研究プラントの視
察を行いました）

この試験・研究は水素を吸
収すると発熱し、放出すると
吸熱する水素吸蔵合金（MH
合金）の特性を活かしたMH
冷凍システムを使って、夏場
でも冬場の作物の収穫を可能
にしよとするものです。

プラントでは工場の排熱と
うちぬぎの水を取り入れてM
H冷凍システムで冷却水を作
り出し、その冷却水で培地の
温度を一定に保ち、いちごを
栽培しています。

ヴェジログル会長は「工場
の排熱を利用するこのような
農業施設は世界中で見たこと
がない。このような水素エネ
ルギーの使い方があるとは思
わなかった。工夫次第でもつ
と生産量は上がる」と大変驚
かれていました。

■視察2日目

2日目は市内の産直市場や
東予郷土館などを視察され、
産直市場では西条市の農産品
の種類の多さや品質の良さに
感心されていました。

会長は「西条市には、おいし
い野菜や魚、肌によい温泉、
美しい山々や海があり、そし
て何より、おいしい水がある
すばらしい所です。ぜひもう
一度訪れたい」と、西条市に
感動されていました。

■今後の取り組み

経済産業省所管の「低炭素
社会に向けた技術シーズ発掘
・社会システム実証モデル事
業」に、サイクスが提案した
「MH冷凍冷蔵システムと食

糧生産を結びつけた委託研究
事業」が採択され、MH冷凍
システムを応用した「MH冷
水製造システム」を活用した
水素いちごの周年栽培の実用
化と、陸上での魚の養殖テス
トに、サイクスが事業実施母
体となつて着手します。

今年度には1000平方呎
の水素いちごプラントと陸上
養殖プラントを（榎）クラレ西条
事業所の敷地に整備する予定
であり、各方面から注目され
ています。

ヴェジログル会長のご紹介



T. Nejat Veziroglu
(T. ネジャト ヴェジログル)

- ・1924年、トルコ共和国生まれ
- ・国際水素エネルギー協会会長（1974年～現在）
- ・マイアミ大学クリーンエネルギー研究所所長
- ・トルコ大統領科学賞ほか受賞多数
- ・ノーベル経済学賞候補（2000年）

国際水素エネルギー協会とは

1973年創立。クリーンエネルギー「水素」の活
用を推進するため、国際的に活動している協会。
2年に1度開催している「国際水素エネルギー一
会議」は、世界各国から科学者、研究者、政府・企
業関係者などが参加する、世界最大規模の水素エ
ネルギーの国際会議です。



▲MH冷凍システムの稼働状況を視察する
ヴェジログル会長と内田裕久教授（右）

▲産業情報支援センターで行った、これ
までの西条市の取り組みの説明。主に
旧通商産業省の事業として昭和56年～
平成5年に行った太陽光発電の研究が
現在の水素エネルギー研究に結びつ
ていること、また、水素エネルギー研
究は東海大学の技術供与を受け、市内
製造業者で組織するLLPトライアウ
トえひめがMH冷凍システムを開発し
ているなど、産学官連携による事業で
あることを説明しました。